

回覧

VOL. 25



令和4年3月
編集・発行 印西市芸術文化協会
TEL 0476-33-4714

第二十六回 印西市民文化祭 及び オンライン文化祭実施



(イオンホール前期 書道協会 出品作品)



印西市芸術文化協会
会長 岩井 義春

令和三年度は、コロナ禍二年目となり当協会に於いても思うような活動実績をあげる事が出来ませんでした。このような状況のなか感染予防対策に留意し様々な可能性を模索し、市民文化祭を無事開催出来ましたことは主管団体として御支援御協力を頂いた関係各位に深く感謝いたしております。

時間の過ごし方が多様化するなか、昔から『四十の手習い』とも申しますが、いざ始めて見ると「もう十年早く始めていれば」と感じることも多いようです。長く付き合える楽しみに出会うのに遅すぎることはないと思います。

コロナの終息が不透明な中、微力ながら印西市の芸術文化活動が発展継続できます様今後も努めてまいりたいと考えておりますので、御支援御協力の程よろしくお願い申し上げます。



印西市長 板倉 正直

平素より印西市芸術文化協会会員の皆様方には、市の芸術文化の振興に並々ならぬご尽力を頂き厚く御礼申し上げます。

例年印西市芸術文化協会の皆様を中心となって運営していただいております印西市民文化祭では、新型コロナウイルス感染症に対して十分な対策を講じた上での開催にご尽力いただき、また、昨年度成果をあげられたオンライン文化祭も無事に開催されたことと伺っております。

現状においても新型コロナウイルスによる困難が続いておりますが改めて文化芸術とは多くの感動、生きる力を与えてくれるものであることを実感しており、ご協力いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。

今後とも貴協会のお力添えを賜りますようお願いすると共に、益々のご発展と会員皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。



邦楽邦舞協会

渡邊 俊子

第十一回「邦楽と邦舞」公演

令和三年十二月十二日、印西市文化ホールにて「邦楽と邦舞」公演を開催しました。三年に一度の本格的な舞台をコロナ禍で開催するにあたり、稽古も出来ない時期もありましたが、前向きな気持ちで一生涯稽古に励みました。

当日は無事に幕が上がり、多くの皆様にご来場頂けました事は喜びと感謝でいっぱいです。今回は、大道具様のご協力で舞台に初めて特設花道を設営し、より一層華やかな舞台を演出する事が出来ました。

印西市邦楽邦舞協会も二十五年来を迎え、今後も芸術文化の発展に寄与出来る様精進してまいります。



茶道連盟

岩永 美月

「七夕によせて」

七夕は、中国の星祭りである乞巧奠（きっこうでん）を原型として、奈良時代に日本へ伝えられました。

初めは宮中行事として、後の江戸時代には織姫彦星の伝説と共に庶民へ広まり、織姫にあやかり技芸上達を祈願して短冊を笹に吊るすのが一般化しました。

七夕の花も盛んに活

けられ、お供えする節供の花から、家庭での節句花として成立し、現在まで諸流派においても伝えられております。

いけばなは、生活様式の変化はあれど、生活に深く根差した芸術であります。これを後世へと伝えるべく、華道連盟では経験豊富な大野会長と共に、新たな教授師範（生花の先生）の入会をお待ちしております。



(大野会長) 0476-42-2710

茶道連盟

五十嵐 まゆみ

「茶席の菓子について」

茶席に出される菓子は茶の間で楽しまれていた菓子とは異なり、次に出て来るお茶をおいしくいただくためのものです。昔は亭主が手作りしていましたが、今は、茶席のテーマに即した物を選んで使う方が多くなりました。抹茶に合うお菓子とは口溶けが良く、全体の調和が良い物が喜ばれています。

茶会、茶事の重要なアイテムの一つとして菓子も重要なものです。そして、菓子を作る菓子屋さん、亭主、客とその根底にあるもてなしの心を通わす事が、茶道の原点であり、亭主の喜び、客の感動につながるものだと思います。

絵画協会

横山 護

本年度の印西絵画展は好評のうちに終了できましたが、秋の小品展は新型コロナウイルスの感染防止の為、中止せざるを得ませんでした。前年が2展共中止となったことを考えると、1展でも開催できたことは良かったと思います。又、市民文化祭にも当協会会員の力作が沢山出品されました。絵画協会は団体5サークルと個人会員で構成され、総勢70名の会員が日本画、洋画等あらゆるジャンルの作品制作活動をしています。

興味のある方は是非一度活動を見学してください。

連絡先（会長江川）0476-33-7001



囲碁連合会

横田 哲郎

「コロナ禍に思うこと」

コロナが広がって約2年が過ぎました。第2日曜日に福祉センターで月例大会を行っています。十年前は六十人の参加が有り大盛会でした。その後、高齢化が進みコロナ前でも四十人まで自然減少しました。緊急事態で4カ月ほどの休止期間が出来ました。福祉センターの再開と共に大会も再開しましたが、基礎疾患のある方は参加を見送り、約二十一、二名でつましく月例会を開いておりました。例年十一月には文化祭大会を盛大に行っていました。今年度は中止、今年度は足が遠のいていた方々に電話で連絡を行い、その結果三十人で二年ぶりに開催できました。来年度は四十人で開催したいと思っています。

将棋連合会

大脇 孝夫

ジェンダーフリーの世の中ですが将棋界では昔から能力本位の世界でした。しかし未だに女性棋士は生まれていません。過酷な三段リーグを勝ち抜く人が現れない事が理由です。そこで女性だけを別枠にして女流棋士会を創設しました。今ではタイトル戦が八つに増え、美人棋士が話題になるなど活況を呈しています。そうなるかどうかどうしているのは真の女流棋士の誕生です。重量上げなら兎も角、知的スポーツと言われる将棋においては謎の一つです。脳科学や社会科学の面から仮設は幾つかありますが、単に時間の問題ではないかと思っ

ています。令和の時代に朗報が届くのを楽しみに待っています。



短歌連盟

本間 百々代

市内の水辺短歌会（中央公民館）・こずもす短歌会（中央公民館）・山百合短歌会（そうふけ公民館）の三つの短歌会を以って短歌連盟を結成し、年々、春には陽春短歌大会、秋には講師を招き文化祭短歌大会を催してきたが、ここ二年度コロナ禍にて集まりは中止し、紙上短歌大会として行われた。

年刊誌『印西短歌』は事情により五十二号から外部への寄贈は取りやめ細々と続けることとなった。印西を訪れた著名な歌人方に恥じないようにこれからも頑張るつもりだと思っている。

園芸文化協会

青柳 文明

令和三年度は、新型コロナ禍が五波迄、感染拡大しましたが、令和二年度より感染症防止対策が充実され、芸術文化協会の活動も制約された環境の中で、生涯学習課のオンラインと共に、文化祭も計画通り開催出来たことに園芸文化協会会員一同関係各位に感謝申し上げます。

陶遊会、盆栽愛好会、共に、中央公民館で年間に計画した研修会をほぼ予定通り実施することが出来ました。

令和四年度も前年と同様、新時代の環境の中で芸術文化協会の活動を通して、印西市の文化の薫り高い町づくりを会員一同努力して行きたいと思いません。

新型コロナウイルスの一日もはやい収束を祈願申し上げます。



書道協会

岩井 義春

私達が学ぶ書道の歴史は、文字の歴史と言えるでしょう。普段目にする漢字でも既に二千年も前の漢や隋唐の時代に現代と同じ書体の文字が使用されています。しかしその表情は変化に富み、とてもパソコンのフォントでも表し切れるものでなく、他に類を見ない文字自体の意味とを合わせて無限の表現が可能だと思います。

かの空海は『書は散なり』と文字を書くことに依る心の発露を説いておりその魅力を多くの方々と探求できればと思います。



俳句連盟

柴崎 悦男

今年度は「文化祭俳句大会」と「いんざい俳句大会」とを開催しました。文化祭では会員三九名の俳句を展示して、多数の方々に鑑賞して頂きました。連盟には四つの句会があり、それぞれ楽しく活動しております。ご見学してみても如何でしょうか。広報いんざい「俳句欄」への投句もお待ちしております。

- 木下手賀野俳句会 毎月第三日曜
- 13時〜 中央公民館
- 向日葵俳句会 毎月第四日曜
- 13時〜 中央駅前地域交流館
- あけぼの句会 毎月第二日曜
- 12時半〜 サザンプラザ
- フアミリア俳句会 毎月第二金曜
- 9時半〜 本塾フアミリア館

歌謡連合会

稲村 清子

昨年もコロナウイルスにより思うような活動が出来ないまま一年が過ぎてしまいました。多くの方より各種イベントへのご連絡をいただくことが嬉しい反面、無事に開催されるかと不安を抱えた時もありました。

令和四年は発表会をはじめ、多くのイベントが出来る事を願ってやみません。新たな変異株が流行の兆しを見せており、心配は絶えませんが、一日も早くコロナ禍が収束、終息し、皆様と再び楽しい時間を共有できますことを祈るばかりです。唄は人の心を癒し、ストレス解消にもなり、若さの秘訣です。発表会が開催されるようになりましたら是非ご出場ください。

民謡連合会

伊藤 敦子

大正琴教室は中央駅前地域交流館を借用し、感染症対策を施しながら、なんとかお稽古に励んでおります。昨年の印西文化祭では民謡連合会としては参加できませんでしたが、「舞踊・邦楽の集い」よりお声をかけていただき、出演させて頂いたことが出来ました。久しぶりの舞台演奏に、会員一同喜びと感動で充実した一日を過ごすことができました。

大正琴は一人でも、仲間との合奏でも楽しめる楽器です。あなたも弾いてみませんか？活動は中央駅前交流館視聴覚室（二階）、第一・第四水曜 13時から。



舞踊協会

大村 富子

コロナウイルスの影響で、毎回中止すべきかどうか迷いながらも開催してきました。今年もまた、オミクロンなる変異株が現れそれも感染者が日増しに増えて来ていると言います。迷いを止めるためにも、先に進んだ方が良いかなと思いつき切り発車する事にしました。今回の発表会は歌手の青戸健さんをお迎えして華やかに行いたいと考えていますので、請うご期待です。四月二十一日（木）文化ホールで、11時30分開場、12時開演となります。皆様、ご近所さんとお誘い合わせの上お越しいただきませうようお願いいたします。



能楽連合会

仲元 俊二

能楽は日本最古の芸能で、ユネスコ無形文化遺産に登録された、いわば日本版ミュージカルです。踊りは舞、歌は謡曲と言います。老若男女、初心者、ベテラン共々、毎月、謡曲を練習しています。伝統文化に肌身で触れるだけでなく、声を出すことで喉の筋肉が鍛えられ、健康によく、最大の健康法だと言えましょう。また能楽の理解を深めるために、観世流能楽師、松木千俊氏（東京芸大卒・重要文化財総合保持者）が、毎月、地域交流館で分かりやすく解説してくれています。

この機会に皆さん、謡曲を始められませんか、初心者の方、大歓迎です。三城康照（電話0476・42・7474）までにご連絡頂ければ幸いです。

フラッシュニュース

期待しております。



名です。この難関を見事越えられた勝太さんの今後の活躍を大いに

採用枠は女性枠1名を含みたったの6名です。この難関を見事越えられた勝太さんの今後の活躍を大いに

二七段に師事してきました。プロへの道は厳しく、日本棋院の年間

令和4年4月に日本棋院初段となりプロの道をスタートします。

棋院東京本院が行った棋士採用試験において第一位になり見事合格しました。

年生、内野小、原山中卒）は今年度日本棋院東京本院が行った棋士採用試験において第一位になり見事合格しました。

「印西市に初のプロ棋士（囲碁）誕生」

囲碁連合会

※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により延期や中止となる場合があります。



は広報いんざい等でお知らせする予定です。日頃の芸術活動の発表を行います。詳細は広報いんざい等でお知らせする予定です。

「印旛郡市文化フォーラムが
開催予定日：令和4年7月9日（土）
会場：印西市文化ホール
印西市で開催」

囲碁



俳画



陶芸



竹籠



書道



印西市民文化祭 開催

2021年10月24日～11月27日 5会場にて実施。
コロナ下にもかかわらず3,600名もの市民が参加しました。

オンライン文化祭 2021年12月1日～31日

出品総数308点 視聴回数900回以上。たくさんの方のアクセスを頂きました。



舞踊と邦楽の集い



ひょうたんアート



大正琴



将棋



生け花



盆栽



本塾太鼓（オンライン実施）

印西市芸術文化協会 14 団体

各会長連絡先

囲碁連合会	横田 哲郎	(42-6243)	書道協会	岩井 義春	(42-6425)
園芸文化協会	青柳 文明	(42-3618)	短歌連盟	本間百々代	(97-2659)
絵画協会	江川 貞夫	(33-7001)	能楽連合会	三城 康照	(42-7474)
華道連盟	大野 容子	(42-2710)	俳句連盟	柴崎 悦男	(46-0480)
歌謡連合会	稲村 清子	(42-3128)	舞踊協会	大村 富子	(46-8386)
茶道連盟	五十嵐まゆみ	(42-2246)	邦楽邦舞協会	渡邊 俊子	(47-3721)
将棋連合会	大脇 孝夫	(46-4020)	民謡連合会	伊藤 敦子	(46-1691)